



世田谷区立砧中学校 校長室だより
令和5年 2月27日
第 57 号
校長 大坂 崇

教育目標 「豊かな人間性の育成」		
① 集団生活における責任感と自主性を養う		
② 健康な心身の育成と勤労の喜びを培う		
③ 基礎学力の充実を図り深く考える姿勢を育てる		
社会性の学び	知的的な学び	心と体の学び
自他の尊重 地域貢献	主体的な学び 学習の定着	心身の健康

生徒の心に届けたいこと

ある絵本から・・・

しあわせ

文：レイフ・クリスチャンソン

訳：にもんじ まさあき

しあわせってなに
夏の太陽
それとも
ふりつづいた雨のあとの大太陽だろうか

しあわせってなに
人気者になること
それとも
ひとりぼっちで悲しいときに
だれかが気づいて
心配してくれることだろうか

しあわせってなに
勝つこと
それとも
ベストをつくすことだろうか

しあわせってなに
何かを
やりとげること
それとも
何かに取り組みはじめることだろうか

しあわせってなに
つぎつぎと成功をおさめること
それとも
できないと
あきらめていたことを
やりとげることだろうか

しあわせってなに
自信をもつこと
自分を大切にすること
そして
自分とおなじくらい

しあわせってなに
ほしいものを
すべて手にいれること
それとも
ほしいものを
さがし求めることだろうか

ほかの人もたいせつにできること

あと少しで今のクラスの学級担任が終わる・・・、そんな時、私は、クラスの子どもに「何か残せたか」とよく考えていました。学級を開き、学級を作り、学級を閉じる・・・。

担任（すべての教職員）には「生徒への思い」を持っていてほしいと思います。それが無ければ、柱が崩れ、学校づくり・学級づくりも授業づくりも安定しません。

私が、いつもクラスづくりで意識していたのは、「共に学ぶ」ことでした。私に「共に学ぶ」という意識を持続させてくれたのがこの詩です。

あと3週間ほどで学年の最終日（修了式・卒業式）を迎えます。

生徒の心に何かを届けて、1年間の終わりを迎える・・・私の思いです。